

陳情第7号	受理年月日	平成29年2月13日
付託委員会	建設建築委員会	
陳情者	門司区上藤松二丁目11-1 軸丸 智裕	
件名	北九州モノレールの廃止と代替交通について	
要旨	<p>過去、私たち市民の多くは、路面電車に支えられて生きてきた。しかし、モノレールの時代とともに、その多くが姿を消した。その当時、モノレールと路面電車は、北九州の目玉として定着する計画もあったというが、バスの妨げになるという理由で廃止されている。</p> <p>モノレールは現在赤字を垂れ流して市の財政を圧迫し、乗客はバスや自転車という利便性の高い交通手段があるため、タクシーの交通の妨げにもなり、迷惑をかけるだけの存在となった。</p> <p>平和通りに落書きがふえ、放置自転車も多く、高齢者が座るバス停のベンチもなくなり、スペースワールドは廃止され、図書館は調べ物をするには完全な状態ではなく、自習室の取り合いが続いている。このような都市にモノレールは、実に高価すぎる乗り物である。</p> <p>過去の赤字を次世代に引き継がせないために、早目に赤字を清算し、財政健全化をなし得るよう、次の決議案を可決していただきたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 北九州モノレールを廃止すること。 2 廃止後速やかに設備を撤去し、車線をふやすこと。 3 代替交通として、市営バス、民間バスの増便、コミュニティーバスで対応し、その助成を行うこと。 	